

次の現場に早く行くために、Uターンした 安全確認が不十分だった ごみ収集車がバイクと衝突 20代男性けが

2016年2月16日(火)7時3分
横浜市は15日、委託先の粗大ごみ収集車がオートバイと衝突し、20代の男性にけがを負わせる事故が12日にあった、と発表した。市資源循環局によると、同日午前11時20分ごろ、市道で、収集車を運転する60代男性が停車していた収集現場から次の現場に向かう際、反対車線にUターンしようとしたところ、後方から直進してきたバイクに衝突。バイクの男性は右手首を骨折するなどした。同局は「次の現場に早く行くためにUターンした。安全確認が不十分だった」と原因を説明している。

「なれた道・なれた仕事」に注意！ <“だいじょうぶだろう”は厳禁です>

交差点 「青」信号で発進時 前方、左右、歩行者の安全確認を、もう一度しましょう

バック時は、一度の確認だけでなく、もう一度確認しましょう

車間距離を十分にとろう！ 滑って、追突を未然に防止しよう

2時間ごとに、15分休憩しよう！

車が動いているときは、いかなる場合も 常に、100%運転に集中しましょう

基準を下回る運行を強要すれば、行政処分の対象
国の運賃基準の下限である約26万4000円を、大幅に下回る約19万円で運行
<軽井沢バス事故> 基準運賃順守徹底へ

2016年2月14日(日)10時35分
長野県でのスキーツアーバス事故を受け、観光庁は、国の基準を下回る安値でのバス運行防止策を打ち出す。旅行会社がバス会社に支払った運賃が基準を満たしていても、旅行会社が運賃から紹介料など手数料をバックさせ、事実上基準を下回るケースがある。このため手数料について契約書作成を求め、基準を守るよう促す方針だ。国は車両整備など安全にかかるコスト確保のため、基準運賃を設定している。旅行会社が基準を下回る運行を強要すれば行政処分の対象になる。一方、手数料の徴収は規制されていない。観光庁によると、事故を起こしたバス会社は、旅行会社の求めに応じて、東京-長野・斑尾高原間を国の運賃基準の下限である約26万4000円を大幅に下回る約19万円で運行していた。

住宅街の一角の狭いT字路 三輪車の2歳児、車にはねられ死亡 母親と保育園に行く途中

2016年2月15日(月)22時50分
15日午前8時ごろ、埼玉県の市道交差点で、保育園児の男児(2)が、左折してきた、パート女性(68)の乗用車にはねられ、頭などを強く打って間もなく死亡した。警察によると、現場は住宅街の一角の狭いT字路で、一時停止などの標識はない。男児はペダルがなく、またがって遊ぶプラスチック製の三輪車に乗って道路右端をT字路に向かって進んでいたが、右から出てきた乗用車の左側面に衝突したという。男児は保育園に行くため、母親(33)と一緒に近くの駐車場に向かっているところで、母親が119番した。女性は「ぶつかるまで気が付かなかった。音で気が付いた」と話しているという。

帯広の高校の教頭が飲酒し、信号待ちのトラックに追突事故 「飲酒運転が発覚すると思って逃げた」、事故不申告容疑で逮捕

2016.2.13 22:41
帯広署は13日、道交法違反(事故不申告)の疑いで、帯広市の高校の教頭の男性容疑者(58)を逮捕した。「飲酒運転が発覚すると思って逃げた」と供述。逮捕容疑は13日午前1時15分ごろ、市道で乗用車を運転、信号待ちのトラックに追突したが警察に届けなかった疑い。トラックの運転手にけがはなかった

サイドブレーキがしっかりかかっていたいなかった 突然動き出した収集車にはねられけが

(2016/2/15(月) 20:38)
15日正午すぎ、大分県の駐車場でゴミの回収作業のため車から降りた40代の男性が突然動き出した車にはねられました。収集車はそのまま暴走、国道を22メートルに渡って横断し、ガードパイプをなぎ倒してアパートの壁に衝突しました。男性は足にけがをして病院に運ばれました。通行人はなく、ほかにけが人はいませんでした。警察はサイドブレーキがしっかりかかっていたいなかった可能性が高いとみて調べています

運転手の不注意、ブレーキをかけず・・・追突！ 車5台が玉突き事故、6人ケガ

2016年2月14日(日)1時45分
13日午後6時半すぎ、神奈川県で、乗用車5台が玉突き事故を起こし、6人がケガをした。事故当時、道路は渋滞していたということだが、警察は最後尾の車の運転手が不注意でブレーキをかけず、前方の車に追突して玉突き事故が起きた可能性があるとして、当時の状況を詳しく調べている。